



TITLE:

表紙・その他

AUTHOR(S):

CITATION:

表紙・その他. 物理化学の進歩 1938, 12(5)

ISSUE DATE:

1938-10-31

URL:

<http://hdl.handle.net/2433/46155>

RIGHT:

第十二卷

第五輯

物理化学の進歩

編輯主幹 理學博士 堀 場 信 吉

目 次

原 報(歐文)

- 臭素と水素との燃焼の焰のスペクトルとその化学反応機構 ……北 川 徹 三…135
被毒還元ニッケルの水素吸着に就て(第一報)低温度に於ける研究 …飯 島 俊 一 郎…148

紹 介

- 脂肪酸鹽類の薄膜に關する最近の研究と其の應用に就て ……近 藤 幸 雄…161
金屬表面上の有機薄膜に就て ……川 北 公 夫…173
加壓下に於ける炭化水素の自然發火(I) ……久 米 泰 三…187

抄 録

40. 光分解に於ける初期反應(195) 41. 水銀を光増感劑とせるエチレン, エチレン-d₂等の水素添加(195) 42. エタンの初期分解並にエタンと酸化窒素の反應(196) 43. 不均一系反應の絕對速度 I. 吸着の一般理論(197) 44. アムモニア合成用鐵觸媒によるエチレンの水素添加(197) 45. パラヂウムの上の酸素と水素の反應(198) 46. 雲母平面上の蒸氣吸着(199) 47. 活性炭による鹽素の吸着(199) 48. 金屬石鹼とそのパラフィン溶液の凝膠(199) 49. 水-油エマルジョンの粘度(200)

日本物理化学研究會刊行

京都帝國大學理學部物理化学研究室內

日本物理化学研究會役員 (順序不同)

會 長	大 幸 勇 吉				
顧問	櫻 井 銳 二	藤 井 榮 三 郎	上 田 宗 重		
商 議 員	荒 勝 文 策	千 谷 利 三	花 島 孝 一	波 多 野 貞 夫	
(ABC順)	堀 場 信 吉	堀 内 壽 郎	市 川 禎 治	飯 盛 里 安	
	城 野 和 三 郎	片 山 正 夫	菊 地 正 士	木 村 正 路	
	喜 多 源 逸	松 野 吉 松	松 岡 俣 躬	仁 田 勇	
	鮫 島 實 三 郎	佐々木 申 二	四 手 井 次 太 郎	田 丸 節 郎	
	富 永 齊				
理 事 長	堀 場 信 吉				
常務理事	堀 場 信 吉				
理 事	松 井 元 興	片 山 正 夫	喜 多 源 逸	仁 田 勇	
監 事	中 村 恒 三 郎	入 江 巖	窪 川 貞 男	田 村 幹 雄	
主 事	守 谷 健 一				

「物理化学の進歩」編輯役員

編 輯 主 幹	堀 場 信 吉			
編 輯 幹 事	田 村 幹 雄			
編 輯 委 員	李 泰 圭	後 藤 康 平	萩 原 篤 太 郎	
	久 米 泰 三	外 山 修	戸 川 治 之	



名譽會員 並 賛助會員 (昭和十三年九月現在, ABC 順)

名譽會員

松 井 元 興 殿 日曹製鋼株式會社殿

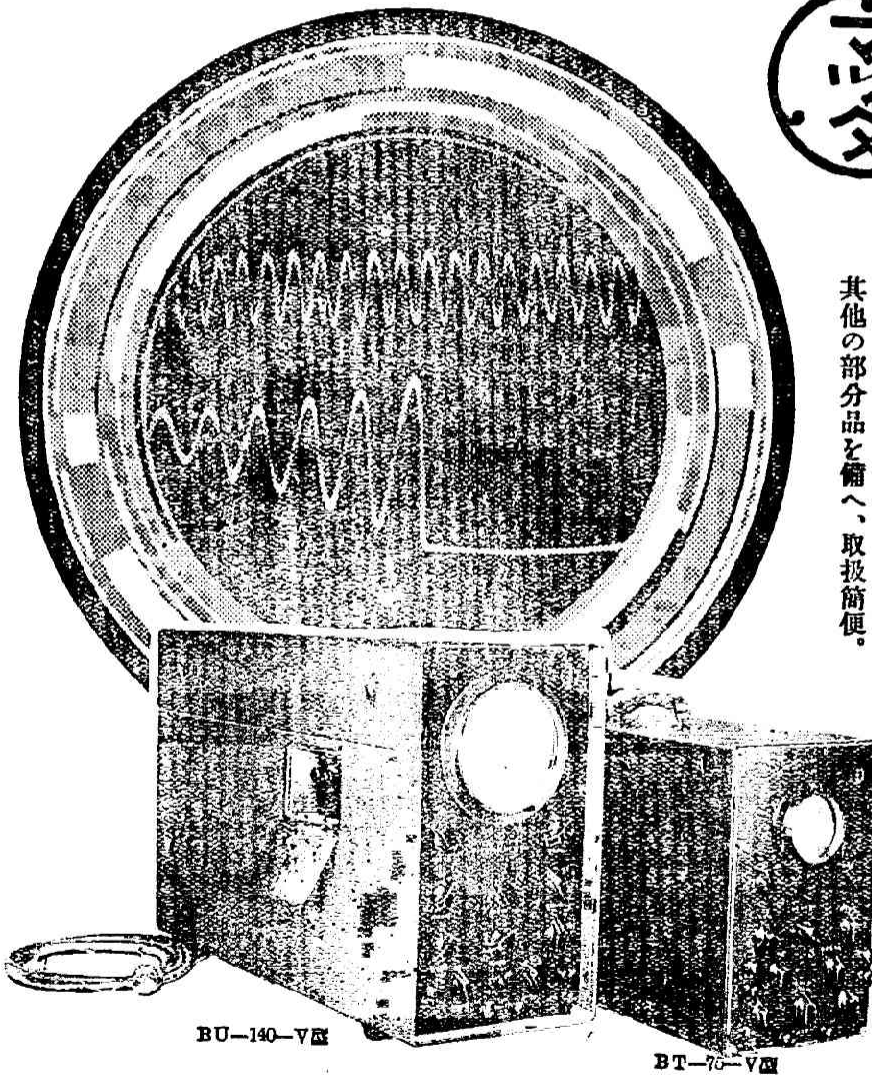
個人賛助會員

江 崎 孫 右 衛 門 殿	濱 口 富 三 郎 殿	淵 田 政 次 郎 殿	龜 田 利 吉 郎 殿
木 俣 泰 清 殿	金 季 洙 殿	中 村 ニ キ 殿	清 水 待 郎 殿
瀧 野 孫 二 殿	津 田 三 郎 殿	上 島 五 一 郎 殿	山 本 信 夫 殿
全 用 淳 殿			

團體賛助會員

旭ベンベルグ細絲株式會社殿	朝鮮窒素肥料株式會社殿	第一工業製藥株式會社殿
大日本塗料株式會社殿	古河電氣工業株式會社殿	イソライト工業株式會社殿
川西機械製作所殿	川崎造船所殿	國産工業株式會社殿
コロイド製藥株式會社殿	九州曹達株式會社殿	滿洲電業株式會社殿
南滿洲鐵道株式會社殿	三菱電機株式會社殿	日本電池株式會社
日本板硝子株式會社殿	日本化學工業株式會社殿	日本光學工業株式會社殿
日本クロス工業株式會社殿	日本石油株式會社殿	日本製鍊株式會社殿
日本香料藥品株式會社殿	日本染料製造株式會社殿	日本曹達株式會社殿
日本水素工業株式會社殿	岡田電氣商會殿	オリエンタル寫真工業株式會社殿
大阪窯業セメント株式會社殿	ラサ工業株式會社殿	堺化學工業株式會社殿
島津製作所殿	新興化學研究所殿	鹽野香料株式會社殿
白石工業株式會社殿	住友電線製造所殿	高砂香料株式會社殿
東邦瓦斯株式會社殿	東海電極製造株式會社殿	東京電氣株式會社殿
わかもと本舖殿		

マツダ陰極線 オシログラフ装置



交流一〇〇Vを用ひ、電源装置、
増幅装置、時間軸振動装置、
其他の部分品を備へ、取扱簡便。

(カタログ進呈)

川崎市 東京電氣株式会社

THE REVIEW OF PHYSICAL CHEMISTRY OF JAPAN

Edited by Prof. S. Horiba, Kyôto Imperial University

Vol. XII, No. 5

October, 1938

Contents

Originals

- Tetsuzô Kitagawa : Emission Spectrum of the Flame of Bromine Burning
in Hydrogen and Mechanism of the Reaction. 135
- Shun-ichiro Iijima : On the Adsorption of Hydrogen on Poisoned Nickel.
Studies at Low Temperatures. 148

Reviews

- Yukio Kondô : Recent Researches on the Successive Monolayers of
Fatty Acid Salts and their Applications. 161
- Kimio Kawakita : Multi-layers of Organic Compounds on Metal
Surfaces. 173
- Taizô Kume : The Spontaneous Ignition and the Knocking of Hydro-
carbon under pressures. 187
- Abstracts 195

Published by

The Physico-Chemical Society of Japan

賛助會員各位

謹啓 時下愈々御清穆大賀の至りに奉存候
 陳者先般日本物理化学界全般の絶大なる御支持の下に設立
 仕候日本物理化学研究會の儀に關し甚だ勝手がましき御賛
 助方御願申上候處下記の如く各方面より多數の御後援を賜
 り感銘の極に有之候
 先は右御禮迄如斯御座候 敬具

昭和十三年十月

日本物理化学研究會

事業資金寄附者芳名

(1,000圓以上 申込順)

昭和十三年九月末現在

金	30,000	圓	也	藤	井	榮	三	郎	殿
金	14,000	圓	也	堀	場	信	吉	殿	
金	1,000	圓	也	上	島	五	一	郎	殿
金	1,000	圓	也	日	本	製	鍊	株	式
金	1,000	圓	也	日	本	香	料	藥	品
金	1,000	圓	也	第	一	工	業	製	藥
金	2,000	圓	也	日	本	ク	ロ	ス	工
金	1,000	圓	也	大	日	本	塗	料	株
金	1,000	圓	也	界	化	學	工	業	株
金	1,000	圓	也	白	石	工	業	株	式
金	2,000	圓	也	龜	田	利	吉	郎	殿
金	1,000	圓	也	木	俣	泰	清	殿	
金	1,000	圓	也	蒲	田	政	治	郎	殿
金	1,000	圓	也	東	京	電	氣	株	式
金	1,000	圓	也	津	川	三	郎	殿	
金	1,000	圓	也	瀧	野	孫	二	殿	
金	1,000	圓	也	金	季	珠	殿		
金	1,000	圓	也	わ	か	も	と	本	舗
金	1,000	圓	也	川	西	機	械	製	作
金	1,000	圓	也	南	滿	洲	鐵	道	株
金	1,000	圓	也	旭	ベ	ン	ペ	ル	グ
金	12,500	圓	也	藤	井	榮	三	郎	殿
金	1,000	圓	也	濱	口	富	三	郎	殿
金	1,000	圓	也	中	村	ユ	キ	殿	
金	5,000	圓	也	日	本	電	池	株	式
金	10,000	圓	也	日	曹	製	鋼	株	式
金	1,000	圓	也	全	川	淳	殿		

小計 金 95,500 圓 也

名譽會員	10,000 圓以上
賛助會員	1,000 圓以上

「物理化学の進歩」購読會員規定假案

第一條 日本物理化学研究会ノ機関誌タル本誌ノ直接購讀者ヲ購読會員トス

第二條 本誌ハ隔月(偶数月末日)發行トシ下記内容ヲ行ス

(一) 原報又ハ論說 (二) 紹介又ハ講義 (三) 抄録

第三條 會費ハ年參圓トシ前納スルモノトス。途中申込者ハ申込ノ月ヨリ之ヲ納入スルモノトス

第四條 終身購読會費ハ金五拾圓トシ既納ノ會費ヲ包含セズ

第五條 既納ノ會費ハ如何ナル理由アルモ之ヲ返却セズ

他ニ別冊トシテ物理化学文献集(新着外國雜誌ヨリ拔萃ス)ヲ毎月發行シ會費(年一圓)ニテ會員ニノミ頒布ス

本會ハ又吾國物理化学海外紹介ノ目的ヲ以テ別ニ年三回歐文號ヲ編纂シ本誌所載ノ「原報」及ビ吾國ニ於ケル物理化学研究ノ抄録ヲ掲載ス(會費年二圓)

△ 會員希望者ハ氏名、雜誌送附先ヲ明記シ振替京都六〇四七番ヘ會費ヲ拂込マレタシ

購読會員會費領收

購読會費 自昭和十三年八月一日 至昭和十三年九月卅一日 (尊稱略 來着順)

永田捷一	西川九藏	東洋化学工業	安田晋三	秋田務
重名潔	早川宏	深間内久雄	内野仙治	佐藤義信
田中工	土方俊三	富田彰	南江堂書店	内田章五
金原壽郎	吉田武子	木下義忠	瀧本恒太	那須信行
宮崎進平	高宮篤	藤田四三雄		

歐文號

日本化学工業

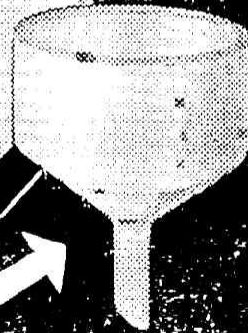
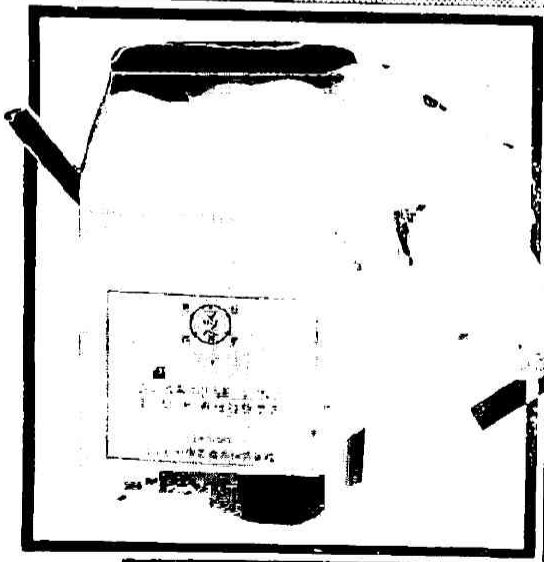
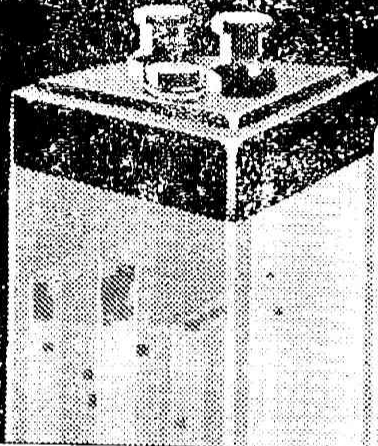
文献集購読料金 (年參圓ニ付五拾錢御送金ノ方ハ不足額至急御拂込下サレ度シ)

東洋化学工業	重名潔	早川宏	田中工	土方俊三
金原壽郎	吉田武子	山崎光善	宮崎進平	高宮篤
意見恒雄				

超 耐 酸

テレックスファイバー

蓄電池用隔膜として、
酸・塩類溶液の濾過用、
酸霧除去装置、充填物として、
洗滌瓶中充填物として、



500瓦

川崎市 東京電気株式会社

日 本 化 學 會

(明治十一年四月東京化學會トシテ創立)

日 本 化 學 會 誌

月刊一冊金壹圓・一箇年前金拾貳圓(郵税共)

BULLETIN OF THE CHEMICAL SOCIETY OF JAPAN.

月刊一冊金五拾錢・一箇年前金六圓(郵税共)

購 讀 希 望 の 向 は 邦 文 會 誌 の 方 は

東京市神田區表神保町三 東 京 堂
同 京橋區横町三丁目三 北 隆 館

に 申 込 ま れ た し。

日 本 化 學 會 規 則 摘 要

第 二 條 本會は化學の進歩及び普及を圖るを以て目的とす

第 四 條 會員は化學に密接なる關係を有する個人又は團體たるへし(以下略)

細則第二條 會員は下の資格の一を備ふへし

- 一 化學若くは化學に密接の關係ある學科を修め又は有益なる研究論文を公にしたること
- 一 化學上顯著の成績を挙げ若くは化學工場に在りて責任ある位置に立ちたること
- 一 化學に密接なる關係を有する法人又はこれに相當する團體たること

第 六 條 入會を望む者は會員二名の紹介を以て學歷等を記入したる申込書を會長に差出すへし、其の可否は常議會に於て之を決す

第 十 五 條 常會は會務報告及學術講演等の爲め四八兩月を除き毎月之を開く(以下略)

第 十 七 條 年會は(中略)毎年四月之を開く(以下略)

第 二 十 二 條 本會は毎月一回日本化學會誌を發行す、日本化學會誌は之を邦文及歐文の二種に分つ

細則第二十六條 會誌には報文、綜説、抄録、雜録、記事等の欄を設く但し歐文會誌は報文を主とす

第 二 十 三 條 會誌は會員に配布し且學術普及の目的を以て之を發賣す

第 二 十 四 條 會費は一箇年金拾圓とす

第 二 十 六 條 會費は入會認可の月より納むへし

細則第三十三條 會費は毎年四月及び十月の二期に於て半年分宛(四月より九月までの分を四月に、十月より翌年三月までの分を十月に)徴集す(以下略)

細則第三十四條 入會者の會費は實際月割を以て該期分を徴集す

入會希望者にして紹介者なきときは學業履歴及び現職を特に詳記して事務所へ申込まるべし

内田老鶴圃・最新刊書

東京市日本橋大傳馬町一

振替東京一二一四六番

電話茅場町⑥五五九一番

金澤醫科大學附屬
藥學專門部教授

理學士 森元七著

高等化學深論

待望の第Ⅲ巻「金屬篇」
（二冊）出來

[illegible]

京都帝國大學講師 理學博士 山下敬治 著

最新刊

數
理
物
理
學

質點の力學

定價四圓五拾錢
送料 參拾參錢

剛體の力学

故京大學教授 王城嘉十郎氏著
定價 參圓五拾錢
送料 貳拾錢

第
III
卷
A
B
二册

完全全
四三
成卷篇

第Ⅲ卷金屬篇……最新刊

A	價金八圓五拾錢	菊判八〇〇餘頁
B	價金七圓	菊判六二〇餘頁

送料各冊 金參拾參錢 各洋布裝上製本

第一卷 基礎篇 (理論化學) …… 第二版

第II卷 非金屬篇……………既刊

價金九圓 藥制上製 九六〇餘百

……

でもない。基礎的理論の要に通じ、之を基礎

近年邦文で刊行される科學書の數は可

上製函入のもの數篇あり、各々其目的に従て内容

を異にしてゐる。山下博士の本書「數

のであるが、数理解物理学の基礎問題を

集め 之に嚴密な証明を施したもの、

貳拾壹錢
したものと同信する。

力學

1000

明治-大正-昭和の聖代に亘る化學的文献の調査 に必要な鍵は茲に全く完成す

財團法人 日本化學研究會 編纂

日本化學總覽

新

第一集 第七卷 [大正14—15年の文献を収載す]

主幹 理學博士 眞島利行

刊

體裁 四六倍版・8ポイント密植・脊皮天竺 内容 本文586頁・索引203頁
定價 金拾貳圓五拾錢 送料 金四拾五錢(内地)

新

刊

日本化學總覽は大正七年その編纂に着手せるにより約20年、啓明會、日本學術振興會其他各方面の援助を仰ぎ、今般漸く第七卷の刊行を了し、茲に明治-大正の化學的文献の抄録を完成せり。本邦に於ける一般化學の研究は勿論、化學工業・醫學・農學・藥學等に亘る廣汎なる研究の眞摯なる報告、特許等はその要粹を抄録して集載せり。故に我國の化學及び關係學術の大勢は一目瞭然たるものあり。化學的文献の探索並に研究の進捗は本書により愈々能率的となるべく、化學に關係ある官衙、學校、會社、試験所は勿論、研究者、技術家諸賢は備へて以て自國の進歩を知ると共に、本邦特有の物資の研究利用に資せられ遺漏なからん事を勸奨す。

既刊出版物

日本化學總覽 第一集 [明治・大正年間の化學的文献集録]
第一卷 [明治1—3] ・ 第二卷 [明治4—6] ・ 第三卷 [明治7—9]
第四卷 [明治10—12] ・ 第五卷 [明治13—15] ・ 第六卷 [明治16—18]
日本化學總覽 第二集 [昭和以後の化學的文献を集録す]
第一卷 [昭和1—3] ・ 第二卷 [昭和4—6] ・ 第三卷 [昭和7—9]
第四卷 [昭和10—12] ・ 第五卷 [昭和13—15] ・ 第六卷 [昭和16—18]
第七卷 [昭和19—21] ・ 第八卷 [昭和22—24] ・ 第九卷 [昭和25—27]
第十卷 [昭和28—30] ・ 第十一卷 [昭和31—33] × × ×

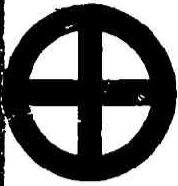
内容見本進呈

以上各卷 定價 ¥ 12.50 送料 ¥ 0.45 [但 * に限り定價 ¥ 9.50]

財團法人

日本化學研究會

仙臺市米ヶ袋上丁拾番地
振替仙臺8158・電話仙臺3924



型録送呈

島津真空ポンプ。

最高真空度 0.0001mmHg柱
排気速度 7.5-80l毎分

京都・東京
福岡・大阪

島津製作所

觸媒化學講座 全七卷

豫約會員募集

◇熒煌燦として輝く本講座の意義と其使命◇

自然界に於ける多くの現象が、接觸反應に依て行はれて居ることは、動植物の生活現象が觸媒の一種たる酵素の作用に基くことに依ても判る。斯の如き酵素の作用は各種の化學工業、例へば酒精、麥酒、清酒、葡萄酒、醬油等を總括する醸造工業より更に進では各種の有機酸、アセトン、高級アルコール、酸酵グリセリン等の化學工業に亘て應用されて居る。然るに吾人は今日酵素の本體並に作用理論に關して知る所が極めて少いのである。

更に接近に於ける多くの重要な化學反應が、觸媒の作用に依て工業化し得る條件に適合するに到つた合成アンモニア、合成メタノール、合成ガソリン、石炭液化、硬化油、合成脂肪酸の如き其例である。而して又殆ど凡ての化學工業に於ては、その工業の一部に觸媒の作用を利用すると云ふも過言ではない。石油工業、ゴム工業、香料工業、染料工業、塗料工業、脂肪酸工業、合成樹脂工業、硫酸工業、其他の無機藥品工業及び有機藥品工業等皆然りである。

斯の如き化學工業の赫々たる發達にも拘らず、其の基礎をなす所の觸媒の理論に關しては、極めて混々たる進歩を見るのみである。近き將來に於ても觸媒の理論に頓着なく、化學工業上の觸媒の應用は、經驗及び實驗の結果に依り益々急速なる進展を續けるであらう。而して其後に於て結局は觸媒理論に導かれる所の化學工業の發展が來るであらう。

従て從來の數多き觸媒應用の現實の事實を網羅總括する事、並に是等と研究考査する事は、以上の經驗及び實驗に依て觸媒を工業的に應用する上にも、又觸媒の理論的研究の上にも共に缺く可らざる事である。此の意味に於て本講座に貢獻する所頗る大なるものがあると思ふ。(東京帝國大學工學部應用化學科教室工學博士田中芳雄教授推薦文より)

◇堂々完璧を誇る觸媒化學全貌の闡明と理論的研究の動向及應用化學工業啓蒙への眞髓を衝く!!

監修		堀場 信吉		喜多 源逸	
京都帝國大學 教授理學博士 東京帝國大學 教授理學博士		堀場 信吉 久保田勉之助		京都帝國大學 教授工學博士 東京工業大學 教授工學博士	
第1卷 觸媒作用の理論		堀場 信吉著		松井元太郎	
第2卷 有機に於ける觸媒反應 無機に於ける工業的諸問題		久保田勉之助著		内田 俊一著	
第3卷 硫酸製造法 アセチレン誘導體 有機酸化學製品		松井元太郎著		渡邊 卓郎著	
第4卷 アンモニアル合成 メタノール合成 フアルマリン酸		柴田勝太郎著		佐々木一雄著	
第5卷 合成石油 水性瓦斯反應油 硬化		藤村 建次著		吉村 倫之助著	
第6卷 石炭液 タール水素添加		三井 啓策著		山口 昌三著	
追 卷 酵 素		坂口 謹一郎著			

◇御申込の要項◇

◇價 格 各巻金3圓也
全 7 巻 21圓也

◇送 料 内地 14 錢、
臺灣・樺太 34 錢、朝鮮・滿洲 54 錢。

◇申込方法 申込金はいりません。

即時最寄の書店、デパート又は直接發行所へ御申込下さい。直接發行所への御申込は振替にて會費と送料を添へて御申込下さい。

◇刊行期日 昭和13年3月より昭和14年9月迄7ヶ月完結 毎月1回1巻宛配本の豫定。

發行所

東京市神田區
小川町2の12

尚 賢 堂

電話神田 2264 番
振替東京 58436 番御申込は最寄の書店
又は直接發行所へ!!(第1巻及び第3巻中)
發 賣御申越次第
内容見本謹呈

月刊 自然科学雑誌

科 學

編輯

安藤廣太郎 岡田武松 柴田桂太 大河内正敏 小泉 丹
柴田雄次 橋田邦彦 坪井誠太郎 仁科芳雄 主任石原純

10 月 増 刊 號 内 容

特輯 自然科学最近の進歩概観

—10月15日發行—

寄 書

Partitio Numerorum と核物理學 (伏見康治), 再び水晶體の再生抑止作用に就て (三上美樹), カセグレイン式反射鏡罩遠寫眞機 (藤波重次・宮澤 堂), 藤壺と富士嶽 (大島 廣), 科學者と高潔なる精神 (櫻井一衛).

論 述

山崎 一 雄: 無機化學に於ける最近の諸問題
竹 脇 潔: 二十日鼠副腎に於ける所謂 X 層の消長と生殖腺の内分泌
坪井誠太郎: 火成岩生成に關する物理化學的研究
坪井 忠 二: 重力の異常と地下の構造
濱田成徳・秋山長松: 最近の眞空管

科學雜纂

物故科學者小傳 (續) (Z. S.)

附 錄一同位元素圖表 (1938年9月現在) (第刊全紙大)

◇ 定 價 30 錢 千 0.015 ◇

10 月 號 内 容 梗 概

卷 頭

統制と科學研究

寄 書

聽き良い部屋的设计 (田口源三郎), 部屋の造書 (田口源三郎), 文字の排列に現れたる Schwankung 現象 (第2報) "a" の分布に就て (續き) (小口八郎), 文字の排列に現れたる Schwankung 現象 (第3報) "a" の有現間隔に就て (小口八郎), 蒸留装置のガラス接續に關する工夫 (志賀 直), 日光の寫眞の音と天井の高さ (田口源三郎・渡邊精一・熊谷透雄), 滿洲國ハロンアキシヤンの槍に就て (木場一夫), 鹽田に於ける微細氣象觀測の試み (淺井辰郎), 異形石礫の用途に關する考察・追記 (池尾 升・上野隆五郎), 雲の新種 "過熱雲" (高橋喜彦), 萬有引力常数に就て (小川原 田).

抜 萃

C. F. v. WEIZSÄCKER: 原子核構造に關する近時の模型觀念 (II)

論 述

阿 部 徹: 原蟲の銀鹽維系 (II)

學界展望

松前重義: 無裝荷ケーブルの研究と實施
西條 楠 尚: 蛋白質を原料とする人造纖維の製造に就て

科學雜纂

内山孝一: 江戸時代の生機學 (VIII)
坪井 忠 二: 深い海の底の岩石を採る

新刊書—研究抄録—科學時事—學會及個人消息

發 行 所 東 京 市 神 田 區 岩 波 書 店

一ツ橋二ノ三

定 價 50 錢 (送料 2 錢)

半年分 ¥3.00, 一年分 ¥5.90 (増刊號, 送料共)

電話九段(33)代番0187(4)

振替口座東京 26240

多年の経験と最新設備の
完備せる印刷所を御利用下さい

京都市柳馬場三條

株式會社似玉堂

(京都官報販賣所)

營業科目

各種出版物印刷
和洋帳簿製造
活版、石版印刷
オフセット印刷
三色版印刷
コロタイプ印刷

電話本局 長 四四二六番
四五〇一番

振替口座

大 二五八三番
東 二三三〇番
京 一一五二番

電信略語

(ジ)

主 筆 工學博士 喜 多 源 逸

一冊 40 錢
(送料3錢)

月 刊 化 學 評 論

前金 一年4圓
(送料共)

第 4 卷 第 9 號

- [136] 芳香族エチレン誘導體の重合……………工 學 士 村 上 恭 平
[137] 外國産ステープルファイバー品種の展望……………工學博士 堀 尾 正 雄
[138] 低温選擇水素化によるビタミン含有硬化油の製造……………工學博士 木 村 和 三 郎
[139] 「ぶな」に就いて……………工 學 士 木 村 徳 治
ニュースセクション：代用品工業に就いて、石炭の需給、重要ニュース蒐録(6)

第 4 卷 第 10 號

- [140] ユーニル樹脂に關する最近の研究(I)……………工 學 士 山 田 正 盛
[141] 護謨の加硫機構に關する學說の進展……………理 學 士 莊 林 伍 郎
[142] Polyenes の合成……………松 井 悅 造 譯
ニュースセクション：人造石油工業に就いて、重要ニュース蒐録(7)

化 學 評 論 社

編 輯 所

發 行 所

京 都 市 吉 田 京 都 帝 國 大 學
工 業 化 學 教 室・喜 多 研 究 室
電 話 上 九 八 〇 番 (學 內 十 九 番)

大 阪 市 西 區 京 町 堀 通 一 丁 目
電 話 土 佐 堀 二 四 〇・四 六 八 番
振 替 口 座 大 阪 一 七 六 一 三 番

理 化 學 器 械・醫 學 用 器 械

- ◇ 電 氣 化 學 器 械
◇ 特 殊 高 級 器 械
◇ 石 英 水 銀 燈
◇ バ イ レ ッ ク ス 製 品

山 下 製 作 所



京 都 市 左 京 區 吉 田 本 町 32 番 地
電 話・上 ③ 1957 振 替・大 阪 74984

特 殊 御 注 文 品 製 作

吾國に於ける物理化學研究の海外紹介に就て！

日本物理化學研究會に於てはその機關誌「物理化學の進歩」によつて、本邦に於ける物理化學研究の概要を廣く世界に紹介することをその使命の一つとして居ります。之が爲、**歐文號**を刊行し、**Originals**と共に **Abstracts** を掲載し、此の **Abstracts** によつて本邦に於ける物理化學研究を餘す所なく抄録し度いと考へて居ります。

その抄録方法は日本化學總覽の物理化學の部に掲載されたる論文の著者より直接原稿を戴いて居りますが、1937年以降發表の論文著者にして、日本化學總覽の物理化學の部以外に掲載されたる方及び化學總覽に未發表にして速に海外發表を希望せられる方は此旨附記の上事務所宛原稿をお送り下さい。

原稿規定……………英文、タイプライター用紙2段送り、1頁以内のこと。

物理化學の進歩歐文號 ◆年3回發行

THE REVIEW OF PHYSICAL CHEMISTRY OF JAPAN

本誌は吾國に於ける物理化學の研究を廣く世界に紹介する目的を以て各國の著名なる大學、研究所、學者に頒布す(1000部發行)。本誌の内容は、原報及び抄録の二に分れ、原報は「物理化學の進歩」掲載論文を集め、抄録は1937年以降の吾國に於ける物理化學關係の報文全部に對し、その英文抄録を網羅せるものなり。

定價 1部80錢(送料6錢) 年2圓(送料共) 海外年3弗(送料共)

昭和13年10月25日印刷

昭和13年10月31日發行

編輯兼發行者

印刷者

印刷所

物理化學の進歩

第12巻 第5號

(年6回刊行)

堀場 信吉

福井 松之助

京都府中京區河原町三條南

株式會社 似玉堂

京都府中京區河原町三條南

定價 60錢 (送料6錢)

購讀會員會費 1年分 3圓 (前金、送料共)

發行所

購讀申込

發賣所

日本物理化學研究會

振替・京都6047番

岩波書店

東京市神田區一ツ橋二ノ三

丸善株式會社京都支店

京都府中京區三條東町

◆ 本誌に關する批評、注意、要求は京都帝國大學物理化學研究室內、田村幹雄宛に願ひます。